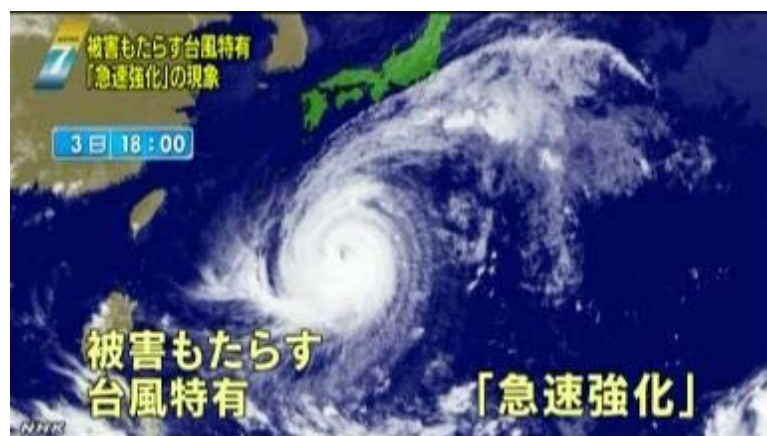


## 台風18号は「急速強化」 10月3日 17時04分



K10050988711\_1410031941\_1410032020.mp4

台風18号は、1日から2日にかけて急速に発達し、大型で非常に強い台風となりました。

この急速な発達には強力な台風特有の「急速強化」と呼ばれる現象で、専門家は「暴風と大雨、突風に警戒や注意が必要だ」と指摘しています。

気象庁の観測によりますと、台風18号は先月29日に発生したあと、1日から2日午後3時までの24時間に中心の気圧が975ヘクトパスカルから935ヘクトパスカルに低下し、中心付近の最大風速も30メートルから50

メートルと、急速に勢力が強くなりました。

中心の気圧が24時間で40ヘクトパスカル前後も下がる現象は専門家の間で「急速強化」と呼ばれ、大きな被害が生じる強力な台風に特有の現象として知られています。

台風のメカニズムに詳しい[名古屋大学の坪木和久教授](#)は「急速強化」は周辺の大気の状態のほか、海水の温度が要因となって引き起こされると指摘しています。

台風は、海面の水温がおおむね26度以上の場合に発達することが知られていますが、台風が近づくと風によって海水がかき混ぜられ、水温が下がるため、それ以上は発達しにくくなります。

気象庁の観測では、今回、台風18号が急速に発達した海域は海面の水温が30度近くあり、さらに、水深100メートルまでの海水温も、25度以上のところが多かったということです。

坪木教授によりますと、海の深いところまで水温が高かったために、海水がかき混ぜられても水温があまり下がらず、台風の発達が続いたとみられるということです。

坪木教授は「海の状態から見て、台風は沖縄県の南大東島付近の海上に進むまで発達を続ける可能性がある。勢力をあまり弱めずに日本列島に近づくおそれがあり、暴風に警戒が必要だ。さらに、風によって暖かく湿った空気が大量に送り込まれるため、台風から離れた地域でも大雨や竜巻などの突風に注意してほしい」と話しています。

#### 【関連ニュース】

- ・ [台風18号 4日に大東島地方に接近か](#)（10月3日 22時40分）

自動検索

- ◇ [台風の進路予報などはこちら](#) 気象・災害情報
- ◇ [サイエンスZERO 雲のニュータイプ出現！エアロゾルが気候変動を支配する](#) NHKオンデマンド（9月7日）

【関連リンク】

- ◇ [NHKスペシャル 巨大災害 MEGA DISASTER 地球大変動の衝撃 第2集「スーパー台風 “海の異変”の最悪シナリオ」](#) NHKオンデマンド（8月31日）
- ◇ [NHKスペシャル 巨大災害 MEGA DISASTER 地球大変動の衝撃 第1集「異常気象 “暴走”する大気と海の大循環」](#) NHKオンデマンド（8月30日）

[社会ニュース一覧](#)

[科学・医療ニュース一覧](#)

[政治ニュース一覧](#)

[経済ニュース一覧](#)

[国際ニュース一覧](#)

[スポーツニュース一覧](#)

[文化・エンタメニュース一覧](#)

[動画一覧](#)

- [ご意見・お問い合わせ](#)
- [NHKにおける個人情報保護について](#)
- [放送番組と著作権](#)